

京都市長 門川大作様

私は、今回の京都市の水族館建設計画に強く反対します。

1) 日本に、これ以上の水族館はいらない。

日本には、すでに 50 館を超える水族館や、それに準じた施設があります。新たな水族館の建設は、新たに野生生物を捕獲して、展示飼育するということです。

集客力のあるイルカなどの海洋哺乳類を搬入する計画があるとすれば、普通は追い込み猟(漁)で捕獲されますが、我が国のイルカ追い込み猟(漁)は国際的に問題視されており、世界動物園水族館協会(WAZA)は、日本の追い込み猟(漁)は、WAZA の倫理に反するとして、日本からイルカを搬入しないように警告しています。

2) 水族館では“海”を体験できない。

門川市長は、「海に面していない内陸都市である京都市の子ども達に、水族館で海洋生物と触れ合い、“海”という大自然、水環境を体験していただくということは、非常に素晴らしいと思います」と述べていらっしゃいます。

しかし、水族館は、けっして「海」を体現するものではありません。単なる「水を満たした水槽」にすぎません。そこには、海の発する雄大な気も、においも、波も皆無です。しかも、京都の水族館は、人工海水を使用することですから、収容される動物にとっては、過酷で生態に反した環境です。

3) 国際的な京都のイメージを壊すものである。

水族館建設に対して、国際的な観光都市である京都への批判は小さいものではないはずです。日本文化の象徴ともいえる京都市は、「京都議定書」の存在で、環境都市とも考えられているだけに、海外からの観光客の激減など京都市の受けるダメージは大きいといわなければなりません。

以上、市長が目先の利益にとらわれることなく、国際的な動向に目を向け、伝統ある京都市の名に恥じない決断をされるよう要望します。

どうか、今回の計画を白紙に戻し、速やかに中止されるようお願いいたします

| 氏名 | 住所 | 署名(サイン) |
|----|----|---------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |